矢板CC大会記録でV3

那須小川GC初出場準V

ゴルフ　県クラブ対抗

県内トップアマが所属ゴルフ場の名誉を懸けて争う「第4回県クラブ対抗競技大会」（県ゴルフ場協議会、県ゴルフ場支配人会主催）が30日、市貝町の新宇都宮CC（パー72）で行われ、矢板CCが357で3連覇を飾った。5人のトータル3アンダーは大会記録。8打差の2位は365で那須小川GC、3位は368で鹿沼72CCが続いた。

大会は「県ゴルフ振興基金」を活用して開催。各チームはAクラス（5人の合計スコアで争った。

過去最多の35クラブ、219人が参加。快晴微風の好コンディションの中、熱戦を展開した。

矢板CCは張田巧が68、後藤貴浩と柳沼達男が71、昨年優勝の立役者の和光利一が72と安定し、2位以下を寄せ付けなかった。

那須小川GCはAクラスの見山寛平が70とチームを引っ張り、初出場で堂々の2位。3位は68の坂本茂が原動力となった鹿沼72CCが続いた。

各クラスのベストグロスはAクラスが67で戸祭康夫（日光CC）、Bクラスは72で和光、Cクラスは68で張田が輝いた。またAクラスでエージシュートを12人が達成した。

◇団体　①矢板CC（熊耳邦男、柳沼達男、大島洋司、和光利一、後藤貴浩、張田巧）357②那須小川GC（見山寛平、鈴木盛生、西川忠克、橋本芳之、橋本健、大谷五一郎）365③鹿沼72CC（大本茂（鹿沼72CC）68（33、35）③見山寛平（那須小川GC）70（37、33）▽Bクラス　①和光利一（矢板CC）72（36、36）②橋本芳之（那須小川GC）73（38、35）③毛塚政実（都賀CC）73（37、36）▽Cクラス　①張田巧（矢板CC）68（32、36）②後藤貴浩（同）71（37、34）③森山善和（那須陽光GC）72（36、36）

◇個人　▽Aクラス　①戸祭康夫（日光CC）67（34、33）②坂本茂（鹿沼72CC）68（33、35）③見山寛平（那須小川GC）70（37、33）▽Bクラス　①和光利一（矢板CC）72（36、36）②橋本芳之（那須小川GC）73（38、35）③毛塚政実（都賀CC）73（37、36）▽Cクラス　①張田巧（矢板CC）68（32、36）②後藤貴浩（同）71（37、34）③森山善和（那須陽光GC）72（36、36）

福根孝司、坂本茂、山形清作、村山周一、児矢野政勝、小木久）368④鹿沼CC（岡本隆志、関正勝、歌川康広、日下部浩喜、大関雅章、広島慎太郎）370⑤鹿沼プレミアGC（金子一郎、小林博樹、山田一成、吉田忠史、宮崎星冬、小田部貴一）375⑥あさひケ丘CC（佐藤則夫、内藤昭、安達栄雄、持田清之、根津博嗣、高橋英樹）376⑦日光CC（阿部孝信、戸祭康夫、与倉博逸、手塚幹雄、斎藤信一郎、佐藤健志）377⑧芳賀CC（田中実、相田喜久夫、鶴野章、大塚武、高山聡史、進藤武之）379⑨NSAJ（坂和義昭、平田昭夫、柏木亮、岡田明良、吉羽成智、星中壱行）380⑩アローエースGC（武田幸雄、竹迫清人、舟岡誠、松村茂、河本泰司、瀧澤雅人）382⑪鷹GC（大谷五一郎、橋本健、大本茂、毛塚政実）365⑫那須CC382⑬皐月GC鹿沼384⑭東松苑GC385⑮サンヒルズCC387

来年の王座奪取誓う

○…初出場で2位の那須小川GC。70と活躍した主将の見山寛平は「新聞の展望記事で〝台風の目〟と書かれ、頑張ってしまった。2位に大満足」と充実感をにじませた。

6人全員が70台。3人が73と内容的には優勝してもおかしくないストロークだった。しかし余りにも矢板CCがスコアを伸ばしたため、「手が付けられなかった」と脱帽した。

エースの西川忠克も「若手が育ってきている。来年は矢板CCと互角に渡り合いたい」と王座奪取を誓った。

矢板CC・和光利一（Bクラスで2年連続ベスグロ）「チームに貢献できてホッとしている。3度目の優勝が最もうれ

3連覇を達成し、県ゴルフ場協議会の松本会長（右から2人目）から優勝カップを受け取る矢板CCの熊耳主将。Bクラスの和光（左端）、Cクラスの張田（左から4人目）

矢板CC　実力者そろえ隙なし

ハイライト

矢板CCの強さは本物だった。上位5人の平均スコアはアンダーパーで他の追随を許さない。「勝って当たり前という評価のプレッシャーは相当なものだった。それに負けない個々の活躍は素晴らしい」と主将の熊耳邦男は満面の笑みで振り返った。

チームを引っ張ったのはCクラスで県知事盃一般男子の部3勝の張田巧。4アンダー68をマークし、3連覇の立役者となった。

やはり今年の県知事盃一般男子の部で21年ぶり2度目の優勝を飾った後藤貴浩も71。新たに加わった県知事盃グランドシニアの部を制しているAクラスの柳沼達男も71と3人で6アンダーだから手がつけられない。

忘れてはいけないのがBクラスの和光利一。シニア選手権を制している実力者はパープレーでしっかりと戦力として貢献した。

6月はKGA主催の「関東倶楽部対抗」で県勢初の頂点に立った矢板CC。競技方法が異なるため当時と同じメンバーは3人だが、隙のない構成は周囲も認めるところだった。

張田は「ゴルフは難しいので、軽々しく4連覇を目指すとは言えないが頑張りたい」と誓う。熊耳主将は「戦力を毎年整えるのは難しい。来年の事を言えば鬼が笑うが、4連覇を狙うしかないでしょう」と前を向いていた。

（井上孝男）

2位の那須小川GC

3位の鹿沼72CC

戸祭康夫